

日本カーリング協会（JCA）の理念・使命・行動指針

公益社団法人 日本カーリング協会

令和7年10月30日

【はじめに】

1984年の設立依頼、日本カーリング協会（以下 JCA）は我が国のカーリング競技の普及発展に努めてきた。先人のたゆまぬ努力、特に1998年長野冬季オリンピック以降のオリンピック日本代表チームの継続的な活躍により、国内での競技認知度および国際的地位の向上が図られてきた。

しかしながら、JCAの活動方針は定款に記載された目的および事業内容以外に依拠する所がなく、統一した中長期の目標を掲げてはこなかった。強化委員会は（公財）日本オリンピック委員会と連携し、次回および次々回の冬季オリンピックまでの期間を想定した強化戦略プランを策定し、指導普及委員会は委員会独自に10年の期間を設定した中期計画を作成してきた。これらの個別事業に特化した中期計画を推進するためにはJCAの少ない資金、人材、労力を効率よく配分する必要があるが、統一した中長期の目標がないゆえにその判断基準がなく、投資に見合う十分な効果が得られているとはいえない状況が生じていた。またカーリング競技に対する国内からの関心の高まりに対し、単に競技者とその関係者の活動する舞台を維持発展するための組織から、スポーツの価値を高め社会的責任を果たす役割を担うことが期待され始めている。スポーツ団体のガバナンス強化を目指しスポーツ庁により制定された「ガバナンスコード」に沿った組織運営をする上でも、中長期の目標を掲げ、それに基づく事業の計画と執行が求められている。

以上の背景の下に、統一した中長期の目標の背景となる我々自身の行動哲学「理念・使命・行動指針」を定め、それに基づき「JCA 2050 長期ビジョン」と「JCA 2030 中期事業計画」を策定する。

【理念・使命・行動指針】

理念

カーリングを通じ、一人ひとりが輝き、つながりを感じられる社会の実現に貢献する

使命

我が国におけるカーリングを統括・代表する団体として、カーリングをする人・見る人・支える人がともに楽しめる機会の創出をリードします

行動指針

・ カーリング精神に基づいて行動します

カーリングの競技の根本にある「カーリング精神」には、善きスポーツマンシップ、思いやりの気持ち、誇り高い行為の尊重が説かれています。JCAはこの精神に基づき行動します。

・ 誰もが楽しめる競技を目指します

カーリングは老若男女、障害の有無によらず同じルールの下に競い合うことのできる競技です。また観戦を楽しむという新たなスタイルも生まれています。JCA はこの競技特性を生かし、誰もがカーリングを楽しめる機会と場を提供します。

・ 国際競技力の向上を推進し、選手の活躍を通じ感動を伝えます

技を尽くして決められたショットを見ることはそれ自体が喜びであり、見る人に感動をもたらします。JCA は常にアスリートの競技力向上を図り、日本の選手が国内外で活躍する姿を日本の皆さんに届けます。

・ カーリングをはじめとするすべてのスポーツ、カーラーをはじめとするすべてのアスリートの価値を高めます

どんな種目であっても、選手が目標に向けてひたむきにプレーする姿、またプレーのために努力する姿は、見る人の心を打ちます。JCA はあらゆる階層のカーリングプレーヤー（カーラー）が自信と誇りを持ってプレーに邁進することのできる環境を用意し、他の競技団体とも連携しスポーツとアスリートの価値を高めることに寄与します。

・ 交流の輪を広げ地域コミュニティの振興に貢献します

カーリングにかぎらずスポーツはそれをする人・見る人・支える人が集うことで、人々のつながりを生み出します。JCA はこのスポーツの力を生かし、カーリングを軸に交流の輪を広げ、その場所を提供している地域コミュニティの振興と発展に貢献します。

・ 世界のカーリングの普及と発展に積極的に貢献します

カーリングが日本国内で普及、発展する過程においては、カナダをはじめとする世界カーリング連盟に加盟のカーリング先進国からさまざまな支援を受けてきました。この支援に報いるべく、JCA もまた世界中のカーラーとともに、世界のカーリングの普及と発展に積極的に貢献します。

日本カーリング協会（JCA）2050 長期ビジョンと 2030 中期事業計画

公益社団法人 日本カーリング協会

令和 7 年 1 0 月 3 0 日

先にさだめた「理念・使命・行動指針」に基づき、2050 年を期に我々の目指すべき世界を示す「2050 長期ビジョン」と、それを実現するための具体的な目標を定めた「2030 中期事業計画」を策定する。

【2050 長期ビジョン】

・ ビジョン 1：世界のカーリング界のリーダーを目指す

- 全ての種目の国際大会において常に表彰台の一角を占める
- 日本のカーラーが世界に誇れるアスリートになる
- 国際大会の開催、世界のカーリング普及活動において、常に指導的役割を果たす

・ ビジョン 2：日本のトップスポーツを目指します

- カーリング精神が社会規範の一つとして広く浸透することを目指す
- 日本の誰もがどこでもカーリングを楽しむことのできる環境を整備する
- カーラー 100 万人、カーリングコミュニティ 1,000 万人を達成する

【2030 中期事業計画】

ビジョン 1：世界のカーリング界のリーダーを目指す

全ての種目の国際大会において常に表彰台の一角を占める：

- ◆ ワールドカーリングチームランキングにおいて、男子 30 位以内 5 チーム、女子 20 位以内 5 チーム、ミックスダブルス 20 位以内 3 チーム、アスリートパスウェイ（FTEM）システムにて次世代選手の育成プログラムの実施（強化）
- ◆ 公認コーチの育成とその資質・技能の向上（指導普及）
- ◆ 公認アスレチックトレーナーの増員とトレーナー部会の設立、国際大会派遣選手のための医科学プログラムの整備と履修促進（医科学）
- ◆ ジュニア世代（U21）を対象とした競技イベントの継続的な開催（競技・指導普及・アスリート）

日本のカーラーが世界に誇れるアスリートになる：

- ◆ 強化選手対象の各種合宿において教育研修を実施、人間力と高潔性の涵養（強化）
- ◆ アスリート参加型の社会貢献活動の実施（指導普及）
- ◆ JADA アスリートインタビューへの積極的な協力（医科学）
- ◆ 世界選手権における選手を対象とした各種表彰の獲得（アスリート）

国際大会の開催、世界のカーリング普及活動において、常に指導的役割を果たす：

- ◆ 世界女子カーリング選手権 2029 の横浜招致と環境保全活動の展開（国際・マーケティング・環境）

公益社団法人日本カーリング協会

- ◆ 国際審判員の育成および国際大会への審判員の派遣（競技）
- ◆ アイスメーカーの海外視察と研修派遣（競技・強化）
- ◆ 国内開催の国際競技大会における医科学支援体制の構築（医科学）
- ◆ ワールドカーリング主催の普及活動への協力（指導普及）
- ◆ ワールドカーリング理事候補者の選抜とポスト獲得（国際）
- ◆ ワールドカーリングアスリート委員およびIOCアスリート委員の選抜（アスリート）

ビジョン2：日本のトップスポーツを目指します

カーリング精神が社会規範の一つとして広く浸透することを目指す：

- ◆ 合宿・研修におけるカーリング精神唱和活動の推進（強化）
- ◆ カーリングスクール、出前授業等の普及活動における認知拡大活動の実施（指導普及）
- ◆ カーリング精神に則した協会組織統治の強化と法令順守の徹底（総務・コンプライアンス）
- ◆ JOC・他競技団体との連携し、社会全体にカーリング精神を伝える機会の提供（アスリート）
- ◆ 地域と連携した環境保全・SDGs 取り組みの展開（環境）

日本の誰もがどこでもカーリングを楽しむことのできる環境を整備する：

- ◆ カーリング協会及び活動拠点の維持（指導普及）
- ◆ 協会未設立地域での継続的な普及活動の実施と、当該地域自治体との連携強化（指導普及・アスリート）
- ◆ 氷上他競技団体と連携した全国のアイスリンクの維持と活性化への貢献（指導普及）
- ◆ 都道府県協会のスポーツ協会への加盟促進（指導普及）

カーラー100万人、カーリングコミュニティ1,000万人を達成する：

- ◆ 生涯スポーツとしての普及・定着、および国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会における競技種目化の実現（指導普及）
- ◆ 電子登録制度の実現（総務）
- ◆ 寄付窓口の充実と、税額控除団体の認定取得（財務）
- ◆ 競技大会、強化合宿等の主催事業のインターネット配信の強化（競技・強化・マーケティング）
- ◆ SNSを活用したカーリングコミュニティへの情報提供の強化（広報・マーケティング）
- ◆ 進学・就職・結婚・出産・育児等の人生キャリアとアスリートキャリアを両立する環境整備と支援活動（強化・アスリート）